

KR-75H (SL-800Ri) 港湾荷役作業中に主ジブ 2 段折損事故に係る点検強化の件

弊社が製造していましたラフテレーンクレーン KR-75H 型 (SL-800Ri 製造期間 2013 年 7 月～2017 年 9 月) におきまして、グラブバケットを使用した港湾特殊荷役作業中に主ジブ 2 段が折損する事故が発生しました。折損の原因と状況は、主ジブ 2 段の中央上面部位に寿命を超えた金属疲労による亀裂が生じ、発見が遅れたため亀裂が進展したことによります。

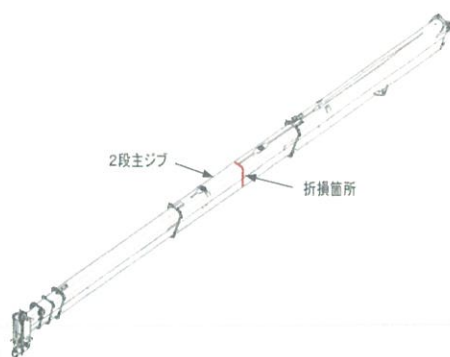
市場で使用しています上記同型機による港湾荷役作業、特殊荷役作業、基礎工事作業等で、常態として負荷率の高い作業や運転サイクルの多いシビアコンディションの状態を使用する車両につきましては、至急下記の箇所に対する点検をお願いします。亀裂等が確認された場合は、速やかに使用を停止し最寄りの弊社サービス工場及び弊社支店営業所にご連絡願います。

車両の点検時及びメンテナンス（グリスアップ作業等）又、作業開始前、作業中に異音や異変を感じた場合は下図の点検も併せて実施をお願いします。

※シビアコンディション車両の点検は、取扱説明書に記載の期間の 1/3 程度の期間で行って下さい。

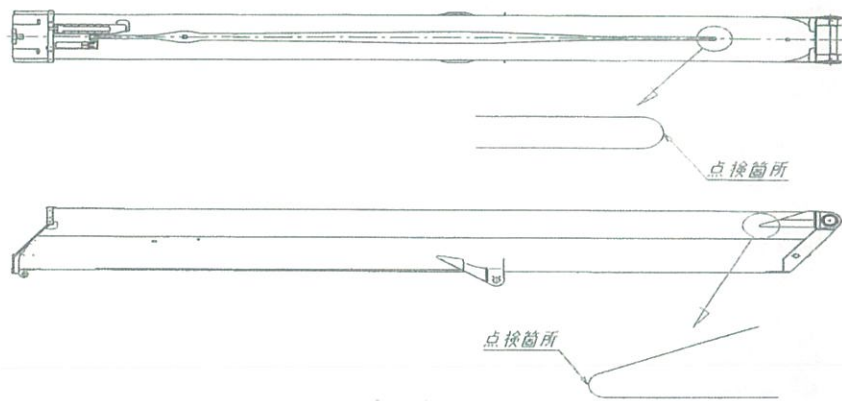
クレーンの寿命に関するサービスニュースNo.0059 を弊社ホームページに掲載しておりますので、併せてご確認をお願いします。

下図 1, 主ジブ 2 段折損発生部位



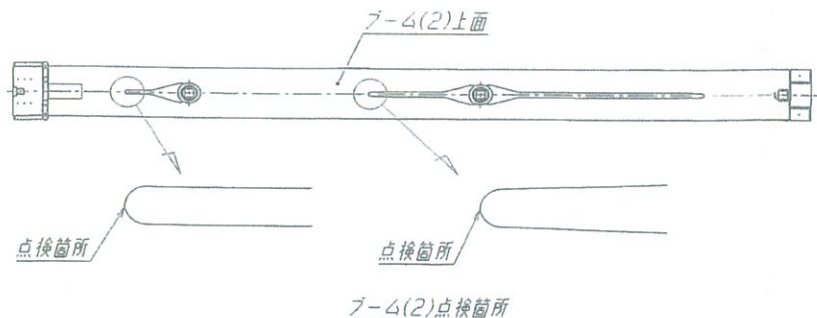
下図 2, 主ジブ 1 段点検強化位置

(主ジブ上面 1 箇所及び側面 2 箇所)



右図 3, 主ジブ 2 段点検強化位置

(上面 2 箇所)



※ 点検期間：1 ヶ月毎

シビアコンディションでの使用車両は通常期間の 1/3 で実施願います